

第11回 運営推進会議 議事録

令和3年8月31日

事業所名	デイサービスセンター「よつ葉」												
開催日時	令和3年8月27日(金)												
開催場所	電話・文書での開催												
参加者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">利用者</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1名</td> <td style="width: 20%;">知見を有する者</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>利用者家族</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td>地域包括支援センター</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>地域住民の代表</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td>事業所職員</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> </table>	利用者	1名	知見を有する者	1名	利用者家族	1名	地域包括支援センター	1名	地域住民の代表	1名	事業所職員	1名
利用者	1名	知見を有する者	1名										
利用者家族	1名	地域包括支援センター	1名										
地域住民の代表	1名	事業所職員	1名										
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1.運営状況 2.事故・ヒヤリハット報告 3.活動報告 4.感染症対策 5.質疑応答 6.運営委員からの評価 7.今後の活動 												

会 議 録

1.運営状況

○介護度の内訳

要支援1:1名／要支援2:0名

要介護1:1名／要介護2:9名／要介護3:6名／要介護4:5名／要介護5:1名

2.事故・ヒヤリハット報告

・半年間で事故は1件、ヒヤリハットは9件

事故報告 R3年6月7日 14時15分頃

【内容】14時に午睡から起きられた後、トイレへ行かれた。トイレから出ようとドアを開けられた際にバランスを崩し、左側を下にして倒れこんでしまった。頭の左側と左脇腹に痛みがあった。

【対応】外傷確認を行い、特に異常はなし。ハアハアと大きく息をする様子があったが、バイタルに大きな問題はなかった。ご家族へ連絡し、受診を依頼。MRI・レントゲン検査を受けられ、特に異常はなし。ケアマネジャーへの報告を行った。

【今後の対応】移動時には必ず見守りや付き添いを行う。トイレ内などの、見守りの目がないところでは、職員間での情報共有を行いながら、居場所の確認を行い、一人で移動をしないように気をつける。利用者様が一斉に動き出してしまうタイミングでは、はっきりと分かりやすい声掛け（次に一緒にいくのでそこで座ってお待ちください、トイレが終わったら呼んでくださいなど）を行い、見守りが必要な利用者様が安全に移動をできるように対応していく。

ヒヤリハット報告

○車いすのひじ掛けを跳ね上げたままにしてしまった。

○平行棒での歩行練習中、目を離れたすきに、落ちていたゴミを拾おうと前かがみになってしまった。

○送迎中、トランクに入れていた歩行器の持ち手が後部座席の利用者様の頭にぶつかってしまった。

○機能訓練で使用しようとしていた昇降台の足が一つ外れてしまっていた。

○車いすの利用者様に立ってもらう際に、両足が重なった状態で立たせてしまい、力を入れて踏ん張ることができずに、尻もちをつきそうになってしまった。

○入浴時、上がり湯をしようと背もたれがない椅子に座っていただいた際に、後ろへ倒れそうになってしまった。

○送迎車から降りたところで、段差に躓いてしまい、膝をついてしまった。

事故やヒヤリハットが発生した場合には、その都度職員間で話し合いを行い、再発防止に努めている。職員会議でも話し合いの場を設け、事故を未然に防ぐことができるよう取り組んでいる。

3.活動報告

○手指の機能訓練として、季節に合わせた展示物の作成

○口腔機能向上サービスの実施(コマキ歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービスの看護師による指導)現在は、反復唾液嚥下テスト(RSST)を主に実施。嚥下機能を測定する方法の一つで、一定時間内に唾液を飲み込む回数から機能を評価するもの。

※7/21に看護師が集まり、歯科衛生士より口腔体操や口腔ケアの指導を受けた。

○脱水対策(経口補水液・ゼリーの常備)

○防災訓練の実施(R3.3.9:地震から火災発生想定での訓練実施、R3.9は土砂崩れを想定した訓練の予定)

4.感染症対策

新型コロナウイルス感染症防止に対する取り組みを様々行っている。

○お迎え時の体温測定(職員も毎日2回の検温、発熱時には出勤停止)

○送迎車にフェイスシールド・マスク・体温計の常備

○来所時の手洗い・うがいの徹底とマスク着用の徹底

○入浴介助中の職員のマスクの徹底

○会話に伴う飛沫感染防止の為高さ約60cmのシールドカーテンの設置

○1時間ごとに5~10分程度の換気

○日中に2回と利用時間終了後に室内の消毒(椅子・テーブル・手すり・平行棒・水回り他)

○利用時間終了後に送迎車の消毒

○不要不急の外出は控え、職員の9割以上がワクチン接種を終了済

5.質疑応答

事故やヒヤリハットの発生に対し、その日のうちに対応策を考える話し合いを持って、未然防止に取り組んでいる様子が把握できました。そこで、これまで起きた事故やヒヤリハット報告を積み重ねて、どんな傾向がありますか?その都度話し合いを重ねてスタッフの変化はいかがですか?

ヒヤリハットが起きた際に話し合い、対応策を決め、それに関してまた問題が発生した場合には、またその都度、何度も話し合い、どうすればより安全であるのか、これ以上何を職員が業務を増やせば対応できるのか、などと話し合っていました。報告を積み重ねていくことにより、全て同じ状況で起こることはありませんが、以前あった対応で応用的に対応できることがあり、職員の業務負担を増やすことなく行うこともできるようになっています。また、以前は数日してから雑談の中で「それはヒヤリハットになるのでは?」や、他者から指摘をされないとそれが危険であることだと気づけないことが多かったように思います。報告を積み重ねることで、まだ職員全員ができるとは言い難いですが、徐々に周りへ目を向けられるようになったり、意識が変わって来たりしており、当事者自らの報告、対応策の相談、職員への周知がスムーズに行うことができるようになってきています。

口腔機能向上サービスの取り組み 特別なことがない限り、歯科受診されない方が多くいらっしゃいます。について、詳細にお知らせいただきましたが、利用者の反応を教えてください。

そのような方は、月に二度でも、デイサービスの看護師やコマキ歯科の医師・歯科衛生士の方に口腔内を見てもらうことが安心に繋がっているようです。また、異常があった際には、どこの歯科へ行けば良いのかわからない利用者様でも、状態を分かっていること、コマキ歯科への受診がスムーズに行うことができているので、利用者様だけでなく、そのご家族からもありがたいとお言葉をいただいています。昨年より開始し、半年毎の評価を受け、現在は2名の利用者様が対象外となっています。その内の1名は、口腔内を褒められることが嬉しくて、日々の口腔ケアへの意識が変わりました。それまで歯磨き粉などはあまり使わず、適当に歯を磨くことが多かったようですが、現在では、歯磨き粉を買うことも楽しみに感じる程、口腔ケアに対しての考え方が変わっているようです。

6.運営委員からの評価

(利用者)家で過ごすことが好きだけれど、ここへ来れば色々な人に会える。職員もよく見て色々してくれるからありがたい。話をすることは苦手だけれど、それでも話をできることが嬉しい。このまま続けたい。

(利用者家族)これと言って要望はない。しいて言うなら、お風呂の時に母さんの頭を自分で洗わせた後に、職員さんの方でも洗ってほしい。それ以外では、色々してもらっているようで、助かっている。預かってもらってありがたいので、これからも継続してほしい。

(地域の代表者)コロナがなかなか収まらず、大変な時間が長くなってしまっている。全国的にも増えているが、山梨も多くなっており、とても心配している。引き続き、手洗い・うがいなどの基本的なことを続けることが大切だと思う。みんなで見守りを行い、新しく何かを行うよりは、職員で協力して頑張っ、利用者様たちが行きたいと思えるような環境を作ってほしいと思う。何かあればいつでも連絡をください。

(知見を有する者)①事故・ヒヤリハット:日常よくありそうな案件ですが、その日の内に原因と対策を検討し、未然に事故が予防できるよう努力しており、しっかりした組織であることが伺えました。利用者様はもちろんですが、スタッフを守る上でも今後も大事な取り組みだと思います。②活動:貴施設の機能訓練や活動はとても良いと感じています。報告書等もしっかり記載して下さるのでありがたいです。年齢を重ねてもできるだけご自宅での生活が続けられるよう引き続き、よろしく願い致します。③感染予防:しっかりとした感染予防がなされていて安心しました。④地域活動:挨拶運動、とても素晴らしいと思います。

コロナ禍で感染対策という業務が増え、皆様とても大変だと思いますが、利用者様の生活には欠かせない大事な場所です。職員皆様の健康を第一に、これからも頑張ってください。

(地域包括支援センター)今後の活動として、子供たちに声掛ける挨拶運動により「こども110番の家」になることは地域にとっても大事な資源だと思います。ぜひ続けていただきたいと思います。利用者子どもたちとの交流の機会にもなると思います。ワクチン接種も進んでいるところですが、ボランティアや外出の機会が早くできるようになるといいですね。

7.今後の活動

- 地域の子どもたちに気軽に声をかけてもらえるような雰囲気の良いデイにする
- 挨拶運動を引き続き実施
- 現在ある新しい生活様式の中での交流の仕方を考えていく

次回、運営推進会議は、令和4年2月の予定